

PTA活動紹介		高P連受付番号	1
PTA(学校)名	愛知県立佐織特別支援学校		部門No. 3(特別支援)
活動テーマ	障害をもつ子どもたちの防災について		
キーワード	啓発研修	障害をもつ子どもの防災	WithコロナでのPTA活動
開催日	令和4年10月18日(火)		
場所	愛知県立佐織特別支援学校会議室		
時間	9時30分から12時30分まで		
参加者	保護者約30名		
趣旨	地震災害、豪雨災害等のニュースが報道されるたび、障害をもつ子どもの保護者は「我が子をいかに守るか」という不安を抱える。その不安を少しでも払しょくさせるため、東日本大震災における障害者と支援者の活動を描いた映画『星に語りて~Starry Sky』の上映会を実施し、障害をもつ子どもたちの防災について語り合う機会を設けた。		
活動ポイント	特別支援学校の保護者にとって関心の高い「防災」というテーマを取り上げ、PTA活動への積極的な参加を目指した。		
主体委員会名・講師名等	PTA役員・理事		
1 概要	新型コロナウイルス感染症拡大により集合型研修の実施が難しく、会員がPTA活動へいかに参加するかを模索していた。今年度に入り「Withコロナ」を意識した活動を検討していく中で、感染対策を万全にしての集合型研修ができないかと考えた。そこで人数制限を設けた研修会を実施し、その内容を参加できなかった会員へ周知するという方法での研修会を実施することとした。		
2 準備日程	<p>5月2日 PTA役員会・理事会にて今年度のPTA活動について審議。PTA防災指導部が学校備蓄品の見学を実施。</p> <p>6月22日 PTA役員会・理事会にて映画上映会と学校祭「さおり祭り」での防災関連展示を行うことを決定。</p> <p>9月8日 PTA役員会・理事会にて映画上映会の具体案(当日進行、係分担)を提示。</p> <p>9月15日 PTA会員保護者向けに映画の紹介付の案内文を配布。PTA会長がきょうされん愛知支部へ映画DVDの貸出申込。</p> <p>9月30日 参加希望の集約(規定人数内であったため抽選は実施せず。)</p> <p>10月13日 DVD受取。</p> <p>10月17日 前日会場準備(会場設営、案内掲示、感染対策備品の準備)。</p> <p>10月18日 上映会実施。感想アンケート実施、集計。</p> <p>10月21日 PTAだよりにて上映会の様子、感想等を会員へ周知。</p>		
3 会場	学校の会議室を使用。学校の感染対策マニュアルに準じ、会議室のコロナ禍での収容人数内で実施した。		

4 活動の様子



当日は役員・理事で受付、駐車場、進行の役割分担をした。受付では手指消毒と体温計測を実施しコロナ対策に努めた。
 参加者全員がそろったところでPTA会長と学校長から挨拶をし、上映をスタートした。
 映画の内容は東日本大震災での実際の出来事に基づいたもので、障害のある人の震災での死亡率が健常者の2倍であったことや震災下での厳しい現実を目の当たりにし、涙ぐまれる保護者の方がたくさんいらっしゃった。

上映後は数名の方に感想を伺った。時間に余裕があれば、もっと感想や意見を伺って、活発な意見交換ができるとよかった。
 全員に感想アンケートを配布した。アンケートには自由記述で「地域防災に臨むことや知りたいこと」といった質問を設け、意見集約を行った。



アンケートを集約し、映画の内容と共にPTAだよりとして全会員に配付して周知を図った。

12月には学校祭において、PTA防災指導部で、学校の防災備蓄の紹介や様々な防災グッズ、校区内のハザードマップの展示を行い、防災意識の向上を目指していく。

5 まとめ

佐織特別支援学校PTAでは今年度「Withコロナ」におけるPTA活動を模索し、今回紹介した防災映画上映会の他にもWeb研修会「障がいのある子どもの性教育」を実施した。我が子の性の問題について全保護者にアンケートを実施し、そのアンケートをまとめ、日本福祉大学の伊藤修毅先生に講演を依頼し、動画で送って頂いたものを学校ホームページで公開し、今年度いっぱい保護者の皆さんに見ていただけるようにした。また、以前から進めているベルマークの収集活動や会報誌の発刊なども実施している。
 役員・理事ですら集合して話し合う機会を持つことが難しかった2年前と比べると、役員・理事が集まって活動することもできるようになってきている。
 感染者数が増減を繰り返しながら、いつになったら終息するのか先の見えないコロナ禍ではあるが、コロナ禍だったからこそ、今回紹介したような研修を思いつき、実施できたと思う。
 コロナ前の大規模の活動ができるようになることを祈りつつも、今だからできるPTA活動を意識して、今後も積極的に活動していきたい。

PTA活動紹介		高P連受付番号	2
PTA(学校)名	愛知県立港特別支援学校		部門No. 3
活動テーマ	文化祭のPTAお楽しみ企画「プラネタリウム」～プラネタリウムがやってくる～		
キーワード	文化祭	PTAお楽しみ企画	プラネタリウム
開催日	11月7日(月)から11月12日(土)の文化祭週間		
場所	愛知県立港特別支援学校 多目的室		
時間	9:30～14:45		
参加者	鑑賞者：全校児童生徒及び学校職員 運営者：PTA事業委員会及びPTA役員		
趣旨	コロナ禍での文化祭において、肢体に不自由を伴う児童生徒及び重度重複障害児童生徒に喜んでもらえるようなPTAの活動を企画し、提供する。		
活動ポイント	コロナ禍で人と人の接触を避け、感染対策をとって、児童生徒が季節と地域に合った夜空の星を鑑賞できる。		
主体委員会名・講師名等	本校PTA事業委員会		

1 概要
 コロナ禍以前は、文化祭でPTA活動として「バザー」、「喫茶」、児童生徒向けに「お楽しみ企画」(ポッチャや魚釣りゲーム等)を行っていた。令和2年度から、新型コロナウイルス感染症予防のため、文化祭の開催自体が大きく変わり、PTA活動を行うことができなかつた。令和4年度は、三密を避け、感染対策を行うことで、重度重複障害及び肢体に不自由を伴う児童生徒に喜んでもらえる企画を実施できるようになった。そこでPTAでは、文化祭で子どもたちに楽しんでもらい、笑顔がたくさん生まれるような企画として、プラネタリウムを考えた。

2 準備日程

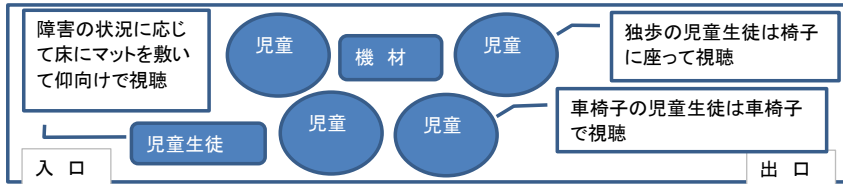
- 4月 : PTA役員及び学年代表で委員会(事業・広報・進路・研修)に分かれて年間計画を立てる。
- 4月～5月 : 文化祭で例年行っていた内容を基にコロナ禍でも可能な企画を考える。一般財団法人星つむぎの村「22年度、初回無償プラネタリウムについて」に応募し、企画が通り、プラネタリウム開催の方向性が決定する。
- 5月～6月 : 学校の文化祭担当に文化祭で行うPTA活動でプラネタリウムを行うことを伝え、場所、活動日程、参加クラスの調整等を依頼する。
- 7月～10月 : 一般財団法人星つむぎの村と上映内容について相談する。学校の写真等、本校のオリジナル映像となるように資料を集め、星つむぎの村と交渉して映像内容を決める。
- 10月 18日 : 校内準備(ポスター貼り、入場チケット準備、プラネタリウム上映期間中の係、担当表、視聴表の確認)
- 11月2・4日 : 会場・準備飾り付け、機材の搬入、映像上映の調整を行う。

<飾りつけの様子>



3 会場について

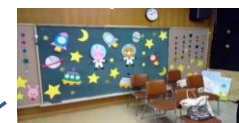
児童生徒がリラックスして見ることができるように、床で仰向けで見ることができるようにマットや椅子を準備した。また、開催途中で暗いところが苦手な児童生徒がいることが分かり、ライトを徐々に暗くしたり明るくしたりするように変更した。医療的ケアの必要な児童生徒には、電源確保や看護師対応ができるように配慮した。また、感染対策として、椅子やマットの消毒を毎回丁寧にを行い、換気を徹底した。
 <会場図・会場の様子>



待ち時間に誕生日から、自分の星座を見つけ出せるように掲示を工夫した。

宇宙の雰囲気を出すように、星や宇宙人、UFOなど、児童生徒が楽しく見ることができる掲示を考えた。

視聴中は換気に気を付け、視聴前後は、しっかり消毒、距離をとるなどの感染対策を行った。

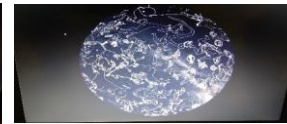


4 内容について

高等部の商業科の生徒にポスター作成の協力を依頼し、素敵なポスターを作ってもらった。また、年齢に応じた入場チケットを2種類作成し、全児童生徒に配布し入場時に受付でスタンプをもらうようにした。入場の際にスタンプをもらってチケットで入場できることが一つの楽しみとなる様子や、モチベーションが上がる姿が多く見られた。
 プロジェクターから天井に映し出された映像を、約20分間視聴する。学校の校舎の様子が映像のはじめに映し出され、本校のオリジナル感が醸し出されるシーンから始まる。優しい語り掛けのナレーションに沿って、11月に名古屋で見ることができる星、12の星座の解説がある。その後、私たちが住んでいる地球から、火星や土星など迫力のある映像となり、銀河系の星の紹介となる。生命の始まりとなる宇宙の神秘、宇宙の壮大さを感じることができる感動の内容である。



木星のシーンから、天の川へ変わる幻想的なシーン



12の星座解説から、自分の星座を探し出すシーン



火星が徐々に大きくなり視聴者に迫ってくるシーン

5 児童生徒の感想や様子

- 映像がきれいでした、迫力があってよかったです。
- 火星が大きくなったり、小さくなったりしてすごかったです。
- 自分の星座が見れてよかったです。
- 天の川いっぱい星がきれいだった。
- 土星の映像を目を大きくして見入る子どもの様子が見られた。
- 横になって楽な姿勢だったので、目を見開いて、よく見る様子が見られた。
- 集中して見る子、少し怖がりながら見る子、歓声をあげながら見る子、様々な姿が見られた。

PTA活動紹介		高P連受付番号	3
PTA(学校)名	愛知県立瀬戸つばき特別支援学校	部門No.	3 特別支援
活動テーマ	①「OBさんとの座談会」②「つばきサロン」		
キーワード	保護者どうしのつながり	子育ての悩み相談	子どもたちのために
開催日	①「OBさんとの座談会」 令和4年11月15日(火) 第1回 令和4年7月6日(水) ②「つばきサロン」 第2回 令和4年9月27日(火) 第3回 令和4年12月6日(火)		
場所	愛知県立瀬戸つばき特別支援学校 会議室、調理室		
時間	①「OBさんとの座談会」 午後1時00分から午後3時00分 ②「つばきサロン」 午前10時00分から正午		
参加者	①「OBさんとの座談会」 保護者 約35名 OB保護者 8名 ②「つばきサロン」 保護者 1回につき約20名(年間4回実施予定)		
趣旨	①「OBさんとの座談会」OB保護者に卒業後のお子さんの様子や進路について話をしてもらったり、質問に答えてもらったりする。 ②「つばきサロン」 普段、話をする機会の少ない学年を超えた保護者の交流の場とする。		
活動ポイント	①「OBさんとの座談会」 事前に、OB保護者に聞きたいことを伝え、当日、それに関する話をしていただく。 ②「つばきサロン」 作業をしながら(卒業式で卒業生が着けるコサージュを作り)話をすることで、柔らかな雰囲気の中で、ざっくばらんに話することができる。		
主体委員会名・講師名等	PTA理事		
①「OBさんとの座談会」 1 概要 PTA理事会で研修会テーマについて検討した際に、特に小・中学部の保護者から、これからのことに不安や疑問があるので、実際に先輩お母さん方(OBさん)からの話を聞きたいとの要望が出たため計画した。OB保護者から話を聞いたり質問に答えていただいたりして大変参考になったと好評だった。 2 準備日程 6月24日:PTA理事会で研修会のテーマを「OB保護者の話を聞く」に決める 9月13日:参加募集の「お知らせ」を作成 9・10月:「お知らせ」配付、回収 OB保護者への参加依頼 10月25日:詳細案の確認 ②「つばきサロン」 1 概要 学校での保護者同士の交流の場が少なくなっているため、学年や部を超えた保護者が直接顔を合わせて、ざっくばらんな話をするところができる場を作りたいという思いから計画し、実行している。また、時には、部主事や教頭もサロンに参加し、保護者といろいろな話ができるようにしている。 2 準備日程 4月 : 執行部で実施案、「お知らせ」作成 5月10日:第1回参加募集の「お知らせ」配付、回収 6月 : 第2回参加募集の「お知らせ」配付、回収 10月 : 第3回参加募集の「お知らせ」配付、回収			

4. 活動の様子(写真)

☆① OBさんとの座談

OBさんから色々なアドバイスをいただきました



さまざまな学年の保護者の方に参加していただきました



現在の悩み、将来のこと、たくさんお話が聞けて良かった！とのお声をいただきました

☆② つばきサロン

子どもたちが喜んでくれますようにお話ししながら楽しくコサージュ作り！作りながら悩み事相談会になることもあります



本校公式キャラクター『つばっきー』